

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	04	01	02	0401	感染症予防対策事業

分野	担当部(機関)	担当課(機関)	担当係長	(内線)
暮らし	健康福祉部	健康づくり課	瀬川 裕子	390

事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定 [平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	---

	25 年度	当初(現計)	補正	25 年度	26 年度
事業費	222,047				
財源内訳	国県支出金				
	地方債				
	その他	1,417			
	一般財源	220,630			

《事業目的》

感染症の予防

《事業開始の背景》

・予防接種法により感染症の発生やまん延を予防するために予防接種事業を実施する。
 ・「狂犬病予防法」により、犬の所有者は、犬に狂犬病予防注射を毎年1回受けさせる義務がある。接種率の向上と飼い主の利便性向上のため集合注射を実施している。

《事業概要》

・日本脳炎等定期予防接種、結核健康診断
 ・H25年度から定期接種化になる子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌の予防接種
 ・任意の高齢者肺炎球菌（対象70歳、80歳）
 ・狂犬病予防・・・登録管理・鑑札、予防接種済票交付・集合注射日程周知

市民参画の有無 [対象外]

《事業展開の留意事項》

《成果指標》

項目	単位	区分	24 年度(実績)	25 年度(実績)	26 年度(計画)
① 日本脳炎予防接種接種率	%	目標	97.0	98.0	98.0
		実績	87.9	84.8	
② BCG接種接種率	%	目標	100.0	100.0	100.0
		実績	85.4	85.9	
③ 狂犬病予防注射接種率	%	目標	100.0	100.0	100.0
		実績	91.6	91.6	

《事業手法の詳細》

- 予防接種 216,796千円 (H24年度 236,243千円)
 - ・予防接種委託料 208,477千円 (H24 226,208千円)
 - 13種類の予防接種の委託料
 - ・事務費 8,319千円 (H24 10,035千円)
 - 通信運搬費3,009千円、臨時賃金3,388千円、需用費1,573千円、医師会事務委託350千円
- 結核検診 3,834千円 (H24年度 3,966千円)
 - ・65歳以上の方を対象とした胸部X線撮影
 - ・結核検診委託料 3,714千円 (@945円×3,930人)
 - ・会場使用料 120千円
- 狂犬病予防 1,417千円 (H24年度 2,085千円)
 - ・鑑札等交付事務 1,152千円
 - 犬の登録申請の受理、鑑札または予防接種済票の交付
 - 【委託先】社団法人岩手県獣医師会花巻支部
 - ・狂犬病予防注射事務 265千円
 - 集合注射の開催

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業J-T*	事業名
一般	04	01	02	0401	感染症予防対策事業

総合計画	政策	保健・医療・福祉のネットワーク 3	施策	みんなで進める健康づくり 3-1
目的	感染症の予防			
対象	定期予防接種等対象者、結核健康診断対象者 狂犬病予防法に基づく登録犬			
意図	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の発生、感染拡大から健康を守る。 ・高齢者の結核・肺炎を予防することにより介護予防となり健康寿命を延伸する。 ・狂犬病の予防注射により人への感染を防ぐ。 			

《事業概要》

- ・日本脳炎等定期予防接種、結核健康診断
- ・H25年度から定期接種化になる子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌の予防接種
- ・任意の高齢者肺炎球菌（対象70歳、80歳）
- ・狂犬病予防・・・登録管理・鑑札、予防接種済票交付・集合注射日程周知

市民参画の有無 [対象外]

市民協働の形態	<input type="checkbox"/> 共催	<input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会	<input type="checkbox"/> 事業協力・協定
	<input type="checkbox"/> 後援・協賛	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> 委託

活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 日本脳炎予防接種対象者数	人	計画	3,350	3,500	3,300
		実績	6,648	6,346	
② BCG接種対象者数	人	計画	700	690	690
		実績	705	690	
③ 狂犬病予防注射対象頭数	頭	計画	5,700	5,600	5,600
		実績	5,668	5,456	
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	25年度(計画)
① 日本脳炎予防接種接種率	%	目標	97.0	98.0	98.0
		実績	87.9	84.8	
② BCG接種接種率	%	目標	100.0	100.0	100.0
		実績	85.4	85.9	
③ 狂犬病予防注射接種率	%	目標	100.0	100.0	100.0
		実績	91.6	91.6	

要因分析	達成度	<input type="checkbox"/> 目標値より高い	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね目標値どおり	<input type="checkbox"/> 目標値より低い
<ul style="list-style-type: none"> ・予防接種法の一部改正により日本脳炎ワクチン接種の積極的勧奨の差し控えにより接種を逸した者に対する接種勧奨をしたため日本脳炎予防接種対象者が増えた。 ・狂犬病に関する意識が低い飼い主がいるため。 				

《環境変化、意見・要望》

・小学6年生までの子どもの季節型インフルエンザ予防接種費用について公費助成の要望が出されている。
--

目的妥当性	<p>公共関与の妥当性</p> <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	<ul style="list-style-type: none"> ・予防接種法及び結核予防法に基づく業務のため妥当である。 ・感染の恐れのある疾病の発生及び蔓延を予防するため実施の必要がある。 ・狂犬病予防法に基づく業務のため妥当である。
有効性	<p>成果の向上余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	<ul style="list-style-type: none"> ・予防接種法の一部改正により日本脳炎ワクチン接種の積極的勧奨の差し控えにより接種を逸した者に対する接種勧奨の必要がある。 ・狂犬病に関する意識が低い飼い主に対する啓発により接種率の向上が期待できる。
効率性	<p>事業費・人件費の削減余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が関わるのは、委託事務、補助金交付事務、連絡調整等が主な業務であり、外部への委託は、馴染まない。 ・登録情報を一括管理するための電算処理システムを導入することで、総合支所の業務を軽減することができる。 ・集合注射の回数や日程を見直すことで人件費の削減余地がある。
公平性	<p>受益と負担の適正化余地</p> <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適正である	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者は、特定の市民ではないこと、市民の誰もがその対象年齢には受益の機会均等である。

《総合評価》

・各予防接種の対象者の把握を確実にし、接種の機会を逃さないよう、個人通知や広報・HPでも周知を行う。
--